

I 教育目標

人や自然との関わりの中で、未来を拓くための資質や能力を育み、共に支え共に生き、将来に夢や希望を抱きながら生活できる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。
 ○たくましい子 ◎響き合える子 ○よく考える子

II 経営方針

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○将来にわたって自分のあり方を問い、自らを高め続け、夢や希望をもち、たくましく生きる力をもつ児童を育てるコミュニティ・スクール ○命や平和の大切さを考えることのできる力をもち、人にも、地球にも、思いやりをもって行動できる心豊かな児童を育てる安全・安心な学校 ○変化の激しい社会を生き抜くための価値基準をもち、知恵を働かせて問題解決ができる力をもつ児童を育てる楽しい学校
目指す児童(生徒)像	<ul style="list-style-type: none"> ○たくましい体と心をもち、生きる力のある児童(たくましい子) ○創造的なコミュニケーション能力のある児童(響き合える子) ○問題解決力のある児童(よく考える子)
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情をもち、「児童の成長」の視点をもって判断する教師 ○資質向上に努め、創造性豊かに挑戦し続ける教師 ○規範意識をもち、組織の一員として力を合わせて取り組む教師 ○一貫性と継続性を重視して、学校経営に参画する教師
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の歴史や伝統を重視し、地域で体験的に学ぶことを通してその良さを実感し、児童が地域を愛し、地域に誇りをもち、持続可能な社会づくりの担い手となることができるようにする。 ○自他のよさや可能性を見出し、自己肯定感を高めるような協働的な学びを通して、児童が誰とでも互いの人格を尊重して行動できるようにする。 ○創造的な問題解決と主体的・対話的で深い学びを計画的・組織的に推進することを通して、児童が学ぶ楽しさや「充実感」を実感できるようにする。

III 経営目標

重点領域1	たくましい体と心をもち、生き抜く力のある児童を育てる。	
中期経営目標	教育活動全体を通して、キャリア教育を進め、基礎的汎用的能力を育成し、持続可能な社会の形成者としての資質・能力を育てる。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な学習を通して、自己肯定感やストレス耐性をバランスよく育てる。 ○安全教育を推進し、校外学習時や災害発生時に児童が「公助」を学び、「自助」「共助」の精神に基づき適切に行動できるようにする。 ○保健指導、体力向上、食育等、総合的に健康教育を推進し、生涯にわたり心身共に健康な生活(スポーツライフ)を送るための基礎を培う。 	
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)
1	全力で学習や活動に取り組み充実感をもたせる授業を推進するとともに、社会で活躍する人とのふれあいの機会を全学年で100%実施することで、よりよい生き方を選択する力を育て、キャリア形成に役立てていく。	努力をして物事を成し遂げる学習や行事等によって、向上心を養い、自己有用感やストレス耐性、自己管理能や判断力を高めようとする児童を80%以上にする

2	セーフティー教室や避難訓練、登下校の集団行動や地域班活動を通して、生活安全、交通安全、災害安全についての理解と実践力を身に付ける授業を100%実施する。	卒業後も安全に生活を送ることができるように、安全に生活を送るための知識と技能、規範意識を発達段階に応じて身に付けた児童を全校の80%以上にする。
3	児童がスポーツライフの実現に向けて体力向上を図る球技や体操、表現、体幹トレーニングなどを体育授業以外でも取り入れる。また、生活スキルを高める指導を100%実施する。	体力向上の自分の課題を把握し、目標や自分の問いを設定して体育科授業や日常的な健康づくりに、楽しみながら計画的に取り組む児童を全校の80%以上にする。

重点領域2		創造的なコミュニケーション能力のある児童を育てる	
中期経営目標	自他のよさを認め、人のつながりを大切に、明朗快活で誰に対しても同じように思いやりのある態度で接することができるようする心を育む。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人を大切にする人権尊重教育や道徳教育を推進する。また、「学校いじめ防止基本方針」をもとに、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図る。 ○児童が全力で学習や活動に取り組み、充実感をもたせていくことで、自己肯定感をもたせ、自分や他人を認める心を育む。 ○「考え議論する道徳」を工夫し、道徳的価値について児童が物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせる指導を計画的に行う。 		
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)	
1	人権に関する知識や道徳的価値観について正しい理解の上で行動できるよう道徳や人権教育を推進する。また、いじめや暴力行為を許さない学校風土をつくる。	他者の立場に立って想像力を働かせて共感し、互いを認めることができるなど人権を尊重する態度を身に付ける児童を全校の80%以上にする。	
2	全校で主体的な学年・学級づくりを進め、学習・行事において問題を協働的に解決していく授業や行事を100%進める。	リーダーシップ、フォロアーシップを身に付けてるとともに、先生や友達を敬愛し、協力し合ってより良い学級や学年、学校をつくらうとする児童を全校の80%以上にする。	
3	年間を通して「挨拶運動」を実施するなど、言葉遣いを指導し、より良い人間関係を築く力を育てる。	相手を意識した挨拶や返事、話し方や聞き方を身に付けようとする児童を全校の80%以上にする。	

重点領域3		問題解決力のある児童を育てる。	
中期経営目標	教育課題の実践や最先端の教育技術を学び、学年・学級経営力と授業力を高めることで、児童の学力向上を図る。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○知恵を働かせて自力解決をしていくことを基本とした問題解決的な学習による授業を児童が進められるようにする。 ○基礎的・基本的な知識・技能を概念化して身に付け、定着率を高める ○言語活動を重視し、思考・判断を伴う「話す、聞く、書く」活動を行うことで児童が考えたことを伝える表現力を高めることができるようにする。 ○評価と指導の一体化による個に応じた指導方法の工夫・改善によって、自ら学びを調節する力を培い、基礎的・基本的な知識及び技能の上に立った資質・能力の伸長を図る。 		
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)	
1	問題解決的な学習を全教科領域で推進し、ICTやデジタルを活用したこれからの学びを実践する。	問題解決力が身に付いて、ICTを活用して主体的に追究できる児童を全校の80%以上にする。	
2	スタンダードタイムなどを活用して、学習の個別化を図り、理解度、習熟度を高める。また、学習規律を徹底する。	こうとう学びスタンダードにある学習規律や基本的な学習習慣、自己管理能力を身に付けた児童を全校の80%以上にする。	

3	<p>思考・判断を伴う「話す、聞く」言語活動を重視し、対話的な学習の質の向上を図る。また、日常的に抵抗感なく書く活動ができるようにする。</p>	<p>対話する際の直観力とスピードを高めたり、根拠をもって文や文章で話したり、書いたりできる児童を全校の80%以上にする。</p>
4	<p>評価と指導の一体化を図るとともに、学習の個性化を取り入れ、自ら学びを調節することができ、主体的・対話的で深い学びにつなげる授業改善を図る。</p>	<p>学習の見通しや方法の選択、振り返り(自己評価)ができ、自分の学びの成果が自信に繋がり、自ら学びの質の向上を目指そうとする児童を全校の80%以上にする。</p>